

安全指導

感染症予防

R7.2.12

こどもプラス唐津第2教室

まだまだ、寒さが続きますが、職員や児童ともに体調に気を付けながら過ごしていきましょう。さて、令和6年4月1日より児童・保護者に対する安全指導（事業所の生活における安全・災害や事故発生時の対応・交通安全等）保護者様への説明と共有が義務化されました。1月～3月は「凍結や積雪時の転倒防止」「感染症予防」となっております。2月は「感染症防止」についてお知らせいたします。

【教室での取り組みについて】

こどもプラスでは、子どもたちがより良い環境で学びや遊びを楽しむために、さまざまな取り組みを行っています。

1. アルコール消毒の徹底

教室に入室した後は、石鹸を使った手洗い、アルコール消毒をするように声掛けをしています。

2. 教室や車内での適度な換気

閉め切った中で児童が過ごすことがないように、適度に換気を行い、空気の入替えをしています。

3. 児童の体調管理

利用児童に体調の変化がないかどうかを観察し、熱を測ったり、静養室にて休ませたりなどの対応をしています。



【感染症予防について】

1. 衛生面

しっかりと石鹸で手を洗うことを呼びかけていく。また、爪切りの大切さや、清潔を保つことの重要性を伝え、自分一人で、毎日出来るように意識づけをしていく。

2. マスクの重要性

咳をしているときはマスクをするということを声掛けしていく。マスクをつけているときとつけていない時の飛沫の具合を動画等で視覚的にわかりやすくし、マスクの重要性を伝えていく。

3. 咳エチケットを守ろう

マスクをしていない場合は、人に向かって咳をしたり、口を覆わないで咳をしたりすることはなぜしてはいけないことなのかを説明を行う。マスクを着けていなかったらどのように周りに思われるかをロールプレイにて分かりやすく説明を行う。